



政策研究会

清水

宏
議員

▼市債、基金、合併特例債の各残高について

Q 市財政状況把握のため、①市債（借金）、②基金、③合併特例債の現在の残高は幾らか。

A ①平成二十二年八月末現在で約百八十五億円、②二十二年末見込み残高で約六十億円、③合併特例債の残高は約八十八億円である。

▼一年後の検証について

Q 白土湖の水藻の除去のシステムはどのようなになっているのか。

A 藻が昨年の夏、白土湖全域でひどく発生したことから、大村市競艇組合の水草刈り取り船を借り、十月下旬から十一月にかけて除去作業を行った。今年は二回計画しており、一回目を七月下旬に実施した。

Q 島原城菖蒲園の開花の工夫、大村菖蒲園との比較はどうか。また、城壁の除草が年一回しか行われていなかったが、今回除

草したのはなぜか。

A ここ数年、シヨウブの生育状況が悪く、対策として株分けにあわせ土の入れかえを行ったところ改善が見られた。大村菖蒲園は、面積的に一・五倍程度広く、株数も二倍余り多いが品種はほぼ同じような状況。城壁の除草は、夏休みで訪れた観光客やお盆で帰省された方々に一時期でもきれいな石垣をごらんいただきたいと思い七月中旬から作業し、雑草が繁茂する夏の時期に除草を行った。

Q 長浜護岸工事と風致地区の考え方は。

A 自然のままの白い砂浜や松が残る猛島海岸あたりも当然保全していかなければならないが、背後地の方々の生命、財産も守るためには護岸工事等も必要と考えている。

Q 白水川沿岸の高潮問題の根本的対策をどう考えているのか。県、市、地元住民（警察、消防）が一体となり、継続的、定期的な話し合いの場、組織を具体的に立ち上げるのが先決ではないか。

A 抜本的対策としては、土地のかさ上げが必要と考える。

▼市議、市職員の税金滞納

Q 市議、市職員の税金滞納の有無は。

A 平成二十一年度末現在、滞納者なし。



政策研究会

林田

勉
議員

▼新庁舎建設について

Q ①現在の検討内容と進捗状況、②検討委員会の答申についての感想、③まちづくりの核としての市庁舎の位置とあり方、④財源と市民負担、⑤今後の想定スケジュールについてお聞きしたい。

A ①新庁舎建設整備懇話会で一年間論議をし、提言をいただいたので、答申の内容を受け、議会とも相談し詰めていく必要がある。②早急に基本的な構想をまとめて、それをもとに議会とも相談し、今の提言に沿って進めていきたい。③財政面、まちの歴史、交通の便、そして現在地及びその周辺を活用した建てかえが望ましいという答申の内容を踏まえながら検討していく必要がある。④計画的な財源の確保に努め、事業の円滑な推進を図っていくような形で財源確保に努めていく必要がある。⑤基本構想の策定、基本計画、実施計画に取り組み、議会と相談しながら進めたい。

▼全国学力テストについて

Q 県、全国と比べてここ三年間の島原市

の結果と、またどう判断しているのか。

A 小・中学校ともに国語、算数、数学では基本的な部分の知識領域では改善の傾向にあるが、小学校の国語と中学校における国語、数学の活用領域に、まだ課題があると思っている。

Q 今後の課題と取り組みはどうか。

A 県でもそれぞれの市に対して調査結果の分析等で指導がなされており、本市では各学校で学力向上プランをつくっている。今後はこの学力向上プランを中心に各学校できめ細やかな指導を進めていきたい。

▼幼児・児童虐待防止について

Q 通報発見から対応、措置はどのようになっているのか。

A 通報があった場合、市は二十四時間以内に児童の安全確認を行う。できない場合には県に報告し対応してもらう。市の窓口は家庭児童相談室、県はこども・女性・障害者支援センターが窓口となる。

Q 市として各機関との連携、防止策はあるのか。

A 早期発見は難しいので、関係機関と要保護児童対策地域協議会を組織し、情報交換や必要な支援内容などを協議している。